

市Pたより「かけはし」

寒さとともに、そろそろ師走の声も聞こえてまいります。市P研究大会には多数のお申し込みありがとうございました。毎年会場ご提供の熊本保健科学大学様には厚く感謝申し上げます。充実した研修会でありますように。

○ 11/29(土)市P研究大会 約800人のご参加・・・

今回は第2希望まで書いていただき、それでもうまく収まるか心配の教養委員会さん方でしたが、集計の結果、すべて第1希望通りでよし、となりました。ご参加の皆様へどうぞお伝えください。ご協力ありがとうございました。

当日は渋滞や駐車場不足が予想されます。時間に余裕を持たれ、可能な限り相乗りでのご参加をお願いいたします。また、全体会場アリーナには暖房設備がございません。暖かい服装でお出でください。

○ 11/22(土)くまもと教育・文化フォーラムへどうぞ・・・

もともと市退職校長会が主催される行事でしたが、広く地域や家庭にも広げたいとの願いから、4年前に市P協議会も共催することとなりました。鶴屋東館10Fパリアホールにて、13:15の開会です。今年度は、元市P会長 森徳和氏のご講演をはじめ、池田小音楽部や画図小PTAの発表などもございます。どうぞお出かけください。

またフォーラムに先立ち、鶴屋東館8階ギャラリーでは現在美術展が開催中です。市P会員からも絵画、12人21点の出品があります。11/18(火)までですので、こちらもどうぞご覧ください。(HPに写真提示中)

○ プール開放校への補助金が振り込まれました・・・

今年度開放された68校へ、熊本市から10月中に振り込みがなされています。当該校へはお知らせを同封いたしました。ご確認の上お受け取りください。

○ お知らせ・・・どうぞお申し込み・ご参加ください

① 単P研助成金申請受付中・・・支出の内、1万円を上限とする助成制度です。詳細は6/11付熊市P協発第26号または市Pのホームページをご覧ください。～締切1/16(金)

② ヒューマンライフアター「あした天気になる?～発達しょうがいのある人たちの生活記録～」・・・12/3(水)14:00
アスパル富合 主催:市人権啓発市民協議会(市Pも一員)

③ 「家庭の日」あったか家族コンクール作品募集・・・
主催:県くらしの安全推進課・熊本県 小中学生の絵日記・写真募集 12/1～1/16 提出は直接学校の先生へ

④ 「ハートフルメッセージ2014」・・・12/6(土)13:30 市民会館大会議室 中学生人権作文コンテスト表彰式・朗読・一ノ瀬たけしトークライブ 主催:県人権擁護委員連合会・法務局

○ 市P協からの質問等への市教委からの回答(その2)

⑥ いじめ・不登校問題に、先生方がじっくりと対応できるよう、先生方にもっとゆとりを。事務的業務を補助する先生を充実させるなどできませんか。

(回答 教育政策課)

教育委員会では、平成21年9月に学校現場の負担軽減検討委員会を設置し、学校現場の代表者の意見も伺いながら、取り組みを進めております。特に、諸調査・提出文書の削減や、パソコンの配置のほか、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学級支援員の拡充などを行ってきたところです。

事務補助については、市費で独自に雇用しておりますが、予算の関係で、今年度も1年間の総勤務日数が昨年度より削減されている状況ですので、事務の効率化等により、教職員の負担が軽減されるような方策を検討してまいります。

平成25年度に教職員を対象として実施した「負担軽減に関するアンケート」の結果によれば、業務多忙による負担について「いつも感じる」「よく感じる」と回答した教職員の割合は高く、依然として業務多忙である現場の状況については十分認識しています。今後も引き続き負担軽減に取り組んでいきたいと考えております。

⑦ 本市の特別支援教育の現状と今後についてお聞かせください。また、中学校では交流に入る教科の先生によって対応が異なり戸惑う場合もあるようです。校内での共通歩調がさらにとれますように。

(回答 総合支援課)

特別な支援を必要とする子どもたちは年々増加傾向にあり、特別支援教育に関するニーズが高まるとともに多様化しております。そこで、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援の充実、校内支援体制の充実、それを支える研修の推進に努めています。

特に、市内を5地区21ブロックに分けて行うブロック研修や、支援・助言を行う巡回指導員の派遣、特別支援学校教諭免許の保有率向上を図ることなどにより、教職員の専門性の向上を目指しております。

また、途切れない支援のために、子ども一人ひとりに必要な支援に関する「移行支援シート」を作成し、就学先においても一貫した支援を行えるよう努めております。中学校においては教科担任制となることから、担任のみならず各教科担当者間での共通理解ができるよう、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会等における支援体制の充実について指導していきたくと考えております。

→裏面へ